

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場取引所 名

上場会社名 中央紙器工業株式会社

コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 神谷 兼弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 横井 敬嗣

TEL 052-400-2800

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	9,982	8.9	1,235	37.7	1,264	35.8	699	52.5
22年3月期第3四半期	9,167	△11.1	897	37.1	931	34.2	458	10.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	140.76	—
22年3月期第3四半期	92.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	9,595	7,478	77.9	1,504.79
22年3月期	9,146	6,999	76.5	1,408.21

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 7,478百万円 22年3月期 6,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	9.00	—	14.00	23.00
23年3月期	—	16.00	—		
23年3月期(予想)				17.00	33.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	4.5	1,400	13.4	1,450	12.3	800	21.2	160.95

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.1「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 5,225,008株 22年3月期 5,225,008株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 255,086株 22年3月期 254,534株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 4,970,380株 22年3月期3Q 4,970,474株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料1ページ「業績予想に関する定性的情報」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	1
2. その他の情報	1
(1) 重要な子会社の異動の概要	1
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	1
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	1
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	1
3. 四半期連結財務諸表	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) セグメント情報	5
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における経済は、アジアを中心とした海外における経済の回復や、国内においては企業成績の持ち直しにより、緩やかに回復しつつありましたが、円高や雇用不安、所得水準の低迷等が続き、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下において、当社グループは、前四半期より引続き梱包プロセス改善を柱とした営業活動に努めるとともに、原価低減、収益体質改善、CO₂排出削減活動に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高99億82百万円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益12億35百万円（前年同四半期比37.7%増）、経常利益12億64百万円（前年同四半期比35.8%増）、四半期純利益6億99百万円（前年同四半期比52.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、主要販売先である自動車関連への販売が順調に推移したことにより、売上高83億68百万円、セグメント利益11億15百万円となりました。

中国は、主要販売先である電気・機械関連への販売が順調に推移し、売上高16億13百万円、セグメント利益49百万円となりました。

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度に比べ4億49百万円増加し95億95百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ29百万円減少し21億16百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億79百万円増加し74億78百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成22年11月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益が364千円及び税金等調整前四半期純利益は、47,066千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は46,701千円でありませ

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,314,054	2,876,077
受取手形及び売掛金	2,917,743	2,766,452
商品及び製品	131,398	124,617
仕掛品	12,777	14,624
原材料及び貯蔵品	44,240	33,627
その他	66,284	89,879
貸倒引当金	△252	△376
流動資産合計	6,486,246	5,904,901
固定資産		
有形固定資産	2,213,948	2,295,521
無形固定資産	15,594	17,785
投資その他の資産	879,663	927,809
固定資産合計	3,109,206	3,241,116
資産合計	9,595,452	9,146,018
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,074,860	1,000,745
未払法人税等	246,383	326,209
賞与引当金	56,240	96,353
役員賞与引当金	16,770	29,650
その他	260,048	252,516
流動負債合計	1,654,303	1,705,474
固定負債		
退職給付引当金	363,100	341,363
役員退職慰労引当金	51,700	97,800
その他	47,653	1,898
固定負債合計	462,454	441,061
負債合計	2,116,757	2,146,535

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	5,552,433	5,001,907
自己株式	△68,779	△68,365
株主資本合計	7,542,111	6,991,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	106,066	135,024
為替換算調整勘定	△169,482	△127,539
評価・換算差額等合計	△63,415	7,484
純資産合計	7,478,695	6,999,483
負債純資産合計	9,595,452	9,146,018

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	9,167,124	9,982,055
売上原価	6,836,659	7,311,953
売上総利益	2,330,464	2,670,101
販売費及び一般管理費	1,432,712	1,434,160
営業利益	897,752	1,235,940
営業外収益		
受取利息	700	792
受取配当金	9,329	11,427
仕入割引	15,217	12,443
その他	18,254	14,321
営業外収益合計	43,501	38,985
営業外費用		
持分法による投資損失	4,248	2,449
為替差損	3,902	6,640
その他	1,802	1,079
営業外費用合計	9,953	10,169
経常利益	931,300	1,264,757
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,479
役員退職慰労引当金戻入額	2,690	—
その他	180	—
特別利益合計	2,870	1,479
特別損失		
固定資産除却損	3,613	10,905
投資有価証券評価損	61,370	18,306
賃貸借契約解約損	56,217	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	46,701
その他	—	1,500
特別損失合計	121,201	77,414
税金等調整前四半期純利益	812,969	1,188,822
法人税、住民税及び事業税	318,233	477,338
法人税等調整額	35,891	11,843
法人税等合計	354,125	489,182
少数株主損益調整前四半期純利益	—	699,640
四半期純利益	458,844	699,640

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、段ボール製品を中心とした各種包装材の製造販売を行っており、国内においては当社が、海外においては子会社である香港中央紙器工業有限公司（中国（香港））が担当しております。現地法人は、独立した経営単位であり、取扱い製品については包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」「中国」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、主として段ボール製品のほか、化成品等の包装材を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,368,702	1,613,352	9,982,055	—	9,982,055
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,368,702	1,613,352	9,982,055	—	9,982,055
セグメント利益	1,115,242	49,498	1,164,740	71,199	1,235,940

(注) 1. セグメント利益の調整額71,199千円には、セグメント間取引消去77,932千円が含まれておりません。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日）を適用しております。

(参考情報)

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

前第3四半期連結累計期間の所在地別セグメント情報を、新たな報告セグメントに組み替えた場合は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,936,178	1,230,946	9,167,124	—	9,167,124
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,936,178	1,230,946	9,167,124	—	9,167,124
セグメント利益	779,258	61,865	841,124	56,628	897,752

(注) 1. セグメント利益の調整額56,628千円には、セグメント間取引消去62,139千円が含まれておりません。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。